

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第 121号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 5 F

TEL 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 4 2 FAX 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 9 4

<http://www.kanagawa-iguren.com>

2012年12月号



【 今月のコンテンツ 】

- かながわ異グ連活動報告 ①第6回スターリングエンジン普及講演会から・・・1、2
②河川・冠水警報システム普及展示セミナー……2
- 企業経営者に話を聴く（第10回）
アイコンテクノ株式会社 代表取締役会長 金子 和夫 氏 …………… 3
- 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 …………… 4、5、6
- 「新事業・新技術支援フォーラム」（略称：戦略会議）の報告（その5） …………… 6、7
- オフィス架け橋【連載12】行政書士 特定社会保険労務士 松田 健 …………… 7
- 産学官交流サロンコーナー …………… 8
- 事務局コーナー …………… 8

< かながわ異グ連活動報告 >

かながわ異グ連の活動の一部をご紹介します。

① 第6回 スターリングエンジン普及講演会から

異グ連常務理事 八幡 敬和

NPO日本スターリングエンジン普及協会が主催する秋の講演会も6回目となると参加者の質も鋭く、ここまで引っ張って来られた鶴野先生はじめ、関係者のご苦勞が実を結んできたことに感動しました。本年度は10月30日、恒例の都道府県会館で「スターリングエンジン事業開拓 現場報告」という副題の下、FIT制度（電力固定価格買取）の発足を踏まえ、再生可能エネルギーを使うスターリングエンジンが現在どのような段階に来ているのか、同協会会員企業の取組を発表したものです。

お馴染みとなってきたKAIHOエンジン・MOMOSEエンジンの実用化に加え、環境省支援「2国間オフセットクレジット制度の可能性事業」としてカンボジアでのスターリングエンジン市場開拓としての拠点づくりは現地情報に乏しい参加者から特に注目されました。そして講演の最後には米国のINFINIA社の生産情報について伝えられました。

また、基調講演として（財）電力中央研究所名誉特別顧問の浜松秀照氏から「エネルギー俯瞰（ふかん）学：【俯瞰とは全体を上から見る事の意】が必要な時代（FIT制度と小規模電気事業）」と題して、熱力学第1・第2法則から導き出される「自然現象はエントロピーの増大する方向に進む」とか「永久機関の排除」ばかりが

強調され、これらの法則が「エネルギー利用のあり方」が示している事を忘れてきたと指摘し、エネルギー有効利用の方法について事例を挙げて話をされました。さらに、送電網（ネット）は電力の有効利用にとって極めて重要な事であるなどの解説がなされました。

<参考> 日本スターリングエンジン普及協会は、三浦半島経済人サロンの中から発芽し、現在では本部（東京）、支部（信州、中京）にまで拡大されており、絶えず異グ連とは相互協力関係にあります。

② 河川・冠水警報システム普及展示セミナー

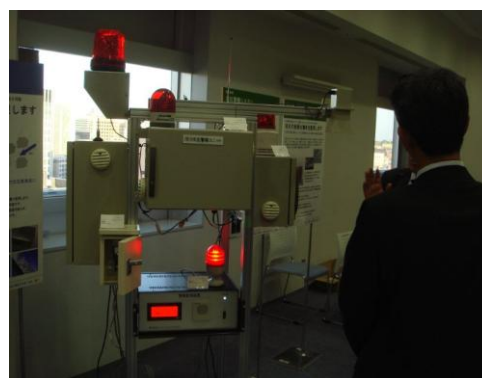
広報：宗和 正憲

11月13日、神奈川中小企業センターにて公益財団法人神奈川産業振興センター受託事業の一環として行われました河川・冠水警報システム普及展示セミナーについてご報告いたします。

今回は横浜国立大学の特任教授である黒川 清登 博士をお招きして「自然災害の猛威による河川・冠水リスクの増大」について話を伺いました。講演内容はマダガスカルにおける災害、大連の化学プラント、タイの大洪水東日本大震災、ベトナムにおける水害の教訓などです。これらに共通するところは急速な都市化・経済の国際化などによる自然災害の被害が飛躍的に甚大化しているところにあります。海外での事例を紹介しながら我が国における河川災害についてお話頂きました。もし政策提言するなら地域住民、行政、工場関係者などが一体化された防災教育をし、各種防災センサーの設置とハザードマップの見直しなど、防災教育と一体化させる必要があるといえます。また、地域経済の活性化と防災教育の共有化が必要で過去の洪水体験の見直しが必要だとお話頂きました。更に、横浜市道路局の河川部、河川管理課からは道路冠水への取組として大都市災害に対する体制と対応についての話を頂き、近年多発しているゲリラ豪雨の実例も交えながら危機管理における初動対応の原則についてお話頂きました。

今回の参加人数は43人で全市町村・県・国166部署へのPRとなると共に早速8件の商談も入りセミナーは盛況でした。

<参考>横浜市親水拠点情報 <http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/kasenganri/guerrilla/>
河川水位警報ユニット
<http://www.unimation.co.jp/products/kasen01.html?gclid=CPeT6vTUnLQCFedKpgodpysAvg>



【 企業経営者に話を聴く】 (第10回)

< 異グ連スタッフ勉強会 >

アイコンテクノ株式会社 代表取締役会長 金子 和夫 氏に話をうかがいました。

編集部 : 宗和

<http://www.aikon.co.jp/>

スタッフの勉強会としてスタートした「企業経営者に話を聴く」も今年度最終回を迎えました。今回はアイコンテクノ株式会社の金子会長です。

現在、代表取締役会長としてアイコンテクノに席をおいていらっしゃる金子氏は、かつて日本エンジニアリング(株)を創業し、半導体検査装置の分野でリーディングカンパニーに育て上げられた方です。中小企業家同友会とも深い関りを持つ金子氏は「感謝、正直、勤勉、寛容」という言葉を大切にされ、社会に貢献し、社会から信頼される経営をするという経営理念の基、人間尊重の経営に重点を置かれています。現在のアイコンテクノ(株)はエンジニアリングを支える技術者の多様化する働き方、キャリアアップと市場価値の向上の支援を通じて社会に貢献しようという思いで平成17年9月に設立しました。現在、従業員数は14名、半導体のエンジニアリングサービスをメインに、半導体・カメラ分野に特化した技術者の育成事業を行っており、ソフトウェア開発・販売、一般特定労働技術者派遣事業と、幅広く事業の拡大をしています。

この様に人材育成に力を注がれている金子氏は1985年(昭和60年)に誕生したハイテクリバーのメンバーとして現在も活躍中です。ハイテクリバーとは川崎地区行政センター商工部の志茂武氏と技術アドバイザーの田保行雄氏(故人)の働きかけにより川崎市内の研究開発型企业177社から選ばれし企業で構成される異業種交流集団です。現在の構成企業はメカトロニクス、オプトロニクスなどの中小企業15社で県内外の視察や産学連携、講演など活動を行っています。

【ハイテクリバー】<http://hightech-river.com/>

このようにリーディングカンパニーに育ててこられた金子氏は日本エンジニアリング時代、67歳の時50人もの社員をリストラせざるを得ない状況に見舞われます。人の尊厳を守ると言いながらリストラしなくてはならなかったのは当時、苦渋の選択だったと言い、彼らの為に次の就職先も探しまわったそうです。その後、今のアイコンテクノ(株)を70歳で設立しました。慌てず、焦らず、決して諦めない。人生は人との出会いとロマンだと言います。

そんな金子氏は今年の春に「脱原発」で本当に良いのですか?という本を出版され、多くの反響がありました。この本は「人間尊重」と「科学する心」という観点から次世代の原子力について触れています。とても読みやすい本で原子力の仕組みがスッと頭に入る本です。まだお読みでない方はご覧いただくとよろしいのではなかろうかと思えます。私の知る金子氏は非常に心厚い方で、まさに有言実行。とても素晴らしい方です。今後ますますご活躍の事でしょう。

<お礼>

この1年間、多くの経営者の皆様にお話を聴かせて頂きました。常に判断を求められる経営者の皆様は様々な危機を乗り越えておいでです。今回、より多くの企業の皆様のヒントや参考になればという思いで編集にあたりました。ご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました。ここに厚くお礼申し上げます。

編集部 : 宗和



【 異グ連会員グループ・プロジェクト状況 】



<http://www2.manten-project.org/>

まんてんプロジェクト活動状況

＜国際航空宇宙展に出展＞

瀧澤 清

10月9日（火）～14日（日）の6日間に亘り開催された JA2012 国際航空宇宙展（ポートメッセ名古屋）に出展参加しましたのでその概要を紹介します。

わが国での航空・宇宙展は4年に一度開催（前回は横浜）される東洋最大の展示会で、32カ国、665企業・団体が参加しました。会期の前半がトレードディー後半はパブリックディーに分けられ、中部空港を使用した実機の展示・フライトもあり16.3万人の多くの参加者が会場を訪れました。

まんてんは、前々回の2004年（横浜）から参加しており、地域コンソーシアムとしての草分け的な存在で、出展品はスペースの制約からパネル・カタログ展示を主に、会員企業の小物製品の一例として、ダイヤモンドヒータ、サーマル・コントロール・フィルム、樹脂・複合材加工用エンドミル、ポリイミド樹脂などの他、まんてん会員企業が協力した超小型衛星（宇宙ステーションより発射）のケースなどです。

展示会としては、主要な取引が欧米でのショーで終了した後でもあり、トレードディーが終了すると国旗だけを残して撤収した海外企業もあるなど、海外の企業は付き合い程度の感を受けました。国内の出展者では、中部地域の開催を反映してか部品メーカーなどの中小企業の参加と経産省の支援を受けた地域コンソーシアムの参加が目につきました。私どもは、この種の展示会はPRと情報収集が目的であり、旧知のコンソーシアムや関係諸団体との意見交換、カナダ、チェコ、英国など海外との交流もありとても効果な場であったと思います。

第135回・日韓ビジネス協議会

高橋 導徳

1. 日時：2013年1月23日（水）午後4:00～4:50 協議会（午後5:00～7:00 新年会）
*開始時間にご注意下さい。
2. 場所：神奈川中小企業センタービル・・・5階会議室
かながわ異業種交流センター（異業種グループ連絡会議）TEL：045-6333-5142
*新年会会場：「さかなや道場」 <http://r.gnavi.co.jp/e686501/>
中区尾上町4-5 4イマックスビル1F TEL：045-227-2188
- 3、 会費：1,000円 新年会費3,000円

特別講演：株式会社 トリウムテックソリューション 代表取締役 古川雅章氏

タイトル：「会社紹介およびトリウム原発」について

*金属のトリウムを燃料に使う新しい原子炉でプルトリウムを生み出さず安全性でも既存の原子炉よりも優れる面がある。

公益財団法人 神奈川産業振興センター (KIP) <http://www.kipc.or.jp>

総務・企画部 事業課

「インドビジネス実務セミナー」のご案内

この度KIPでは、インド進出の現状と課題をはじめ、事前に理解しておきたい法制度やビジネス交渉のポイント等をわかりやすく解説をするとともに、ジェトロ横浜よりジェトロの対インドビジネス支援策をご案内するセミナーを開催いたします。インドビジネスに関心の皆さまのご参加お待ちしております。

【開催概要】

- 日時 平成24年12月21日(金) 14:00～16:30
- 会場 神奈川中小企業センタービル13F 第1会議室
- 内容 ①インドビジネスの実情 知っておくべき法制度 交渉のポイント
講師 小川浩賢氏 (小島国際法律事務所 パートナー 弁護士)
②ジェトロの対インドビジネス支援策
講師 石井淳子氏 (日本貿易振興機構(ジェトロ)横浜貿易情報センター)
- 対象 インドビジネスや進出に関心のある県内中小企業の経営者および担当者
- 定員 35名 (申込先着順)
- 費用 一般:1,000円 KIP会会員:無料
- 申込 以下のホームページよりお申込みください。
<http://www.kipc.or.jp/content/view/1207/115/>
- お問合せ先 (公財) 神奈川産業振興センター 事業課 TEL 045-633-5170

貿易英語講座のご案内【全3回】

すでに海外取引に従事されている方を対象に、様々なシチュエーションのサンプルレターを使用しながら「貿易英語」について学びます。また、受講者の実務上の「疑問点」なども解決していく講座です。みなさんのご参加お待ちしております。

- 第1日目 (1月10日)
サンプルレター ・取引の申込 ・引き合い
自社紹介・売り込みの英語 など
- 第2日目 (1月17日)
サンプルレター ・信用照会 ・オファー・カウンターオファー
交渉の英語 (説得・依頼) など
- 第3日目 (1月23日)
サンプルレター ・注文の承諾 ・丁寧なお断り など

【開催概要】

- 日時 平成25年1月10日(木)、17日(木)、23日(水)
- 会場 神奈川中小企業センタービル6F 大研修室
- 講師 宮本 正明 氏 (NPO 法人国際社会貢献センター 登録アドバイザー)
- 対象 実務経験3年以内程度の方 ■定員 25人 (申込先着順)
- 費用 一般:15,000円、 KIP会会員:10,000円
- 申込 ホームページよりお申込みください。
<http://www.kipc.or.jp/content/view/1193/115/>
- お問合せ先 (公財) 神奈川産業振興センター 事業課 TEL 045-633-5170

<C&Sグループセミナーのご案内>

- 【主催】コンサルタント集団「C&Sグループ」(異グ連会員)
【後援】神奈川県異業種グループ連絡会議(異グ連)

受講料：会場費・
資料代含む。
セミナー参加費
1,000円/回

1. セミナー名称： 「5S活動による職場改善」(仮称)
開催日時： 平成25年1月23日(水) 14:00~17:00
開催場所： かながわ労働プラザ第5会議室
講師： 加藤文男氏

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

有村 知里

< 第3回新年ビジネス交流会 >

- 日時 2013年1月19日(土) 13時30分～ 懇親会 17時15分～
○場所 かながわ労働プラザ
○定員 先着70名様
○参加費 3,000円(懇親会費込み)

事業プレゼン、商品展示、懇親会と大変有意義な交流会です。
多数のご参加をおまちしております。

■異業種交流会シフト21とは

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に定例会(原則第2火曜日)を開催しております。ゲスト参加大歓迎です。お問合せ・お申込みは有村まで。arimura-c@nifty.com

★「新事業・新技術支援フォーラム」は2011年度分に遡って皆様にご報告いたしております。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の経過報告(その5)

異グ連事務局 松井利夫

第10回フォーラムは平成24年2月29日に開催。早川氏より、以前、「新環境フォーラム」で取り上げられた「環境教育」について次のような説明があった。

自分は、シックハウス症候群の予防のための助成金が無いか調べたが、病気になってからの支援についての助成金はあるが予防のための助成金はほとんど無い。唯一、ファイザー(株)が「ファイザープログラム～心と体のヘルスケア～」に関する上限300万円の助成金があったので応募したが採択されなかった。シックハウス症候群については、北里研究所病院の臨床環境医学センターが世界的に権威ある専門医療機関であり、協力していただいている。

次に、永瀬氏から、メンバーの金子和夫さんが、今度、ごま書房新社から「脱原発」で本当に良いのですか」という著書を近く出版する旨の紹介があった。著書の内容は、原発には悪い原発と悪くない原発があり、悪くない原発とは「トリウム溶融塩炉」であることを訴えている。

次に、石川氏から「ペットボトル再生材を利用したトンネルコンクリ剥落部材」の開発について説明があった。S建設などの出資を得て共同で開発している。試作品と生産設備は出来ているが作業効率が悪く採算が取れないので苦戦しているとのことである。その他、燃料自動車の試乗体験談など、2,3の情報提供があった。

第11回フォーラムは平成24年3月22日に開催。栗田氏から「CCFL(冷陰極蛍光管)」について詳細な説明があった。CCFL(Cold Cathode Fluorescent Lamp)とは、一般的な蛍光灯(熱陰極管蛍光灯)と発光原理は同じだが、CCFLは電極を加熱せずに電子を放出する。そのため、点滅回数による電極の寿命劣化が少ないので長寿命である。CCFL 蛍光管の特徴は、省電力、長寿命、安定した光源であるとのこと。奥寺氏から、今まで20万本販売したがまだ知名度は低い。販路拡大が課題であると補足説明。続いて、本田氏より、「超硬と鋼の接合による切削工具」について説明があった。原理は摩擦圧接であり、旋盤で鋼をくわえて回転させ、そこに超硬を押しつけて自然発熱で圧接する。これに対してメンバーから販路開拓などの助言があった。次に、伊藤氏から、「ゲリラ豪雨に備える河川・冠水警報装置」についての説明があった。「河川・冠水警報装置」には、「河川水位警報ユニット」と「冠水警報装置」とがある。「河川水位警報ユニット」と「冠水警報装置」の違いは、水位センサーが異なる。「河川・冠水警報ユニット」の特徴は①現地で警報を出すこと、②急激増水警報を判断する、③コンパクト・低価格、④オプションで高機能が可能、であること。

次は、鈴木氏から、「二重反転風力発電」開発のその後について説明があった。「二重反転風力発電」については、単独では出来ないので大手とタイアップしたいと考えている。今、S重工と技術移転の話し合いを始めたばかりである。S重工には、風力発電を担当する技術部門の人がいて、興味を示してくれている。この他、神奈川産業振興センター主催の「かながわのユニーク企業・事例発表会」の報告や4月に岩手県の釜石地区を再度訪問して、前回支援した状況を視察する予定であることなどが報告された。

オフィス架け橋
行政書士 特定社会保険労務士
松田 健

[http://kakehashi-yokohama.
web.officelive.com/shiminhou
mu.aspx](http://kakehashi-yokohama.web.officelive.com/shiminhou.mu.aspx)

【 連載 その12 】 労働基準監督署(労基署)の調査とその種類

【労働基準監督署(労基署)の調査とその種類】

労基署は、会社が労基法などの法律をきちんと遵守しているかどうか、調査・指導を行っています。労基署調査とは、労基署は、労基法や安衛法、労災保険法などにもとづき、会社に対する監督指導や保険給付などを行います。会社が労基法や安衛法などの法律をきちんと守っているかどうかを調査するものです。もし守られていなければ、調査の中で改善を指導します。

労基署調査の種類には、労働基準監督官が会社へ赴く場合と、労基署に呼び出される場合があります。また、事前に調査日時や必要書類の通知がある場合と、事前の通知なしに抜き打ちで行なわれる場合があります。

労基法の調査の主なものとして、定期的な調査と従業員などからの申告による調査があります。

定期的な調査とは、会社が労基法などの法律を遵守しているのか、定期的に調査するものです。会社が労基署へ必要書類を持って訪問するケースが多いようです。

従業員などからの申告による調査とは、従業員などが労基署に対して、会社の労基法違反などを申告した場合などに、行われる調査です。会社が労基法違反などをしていて可能性があるので、調査が厳しくなることもあります。会社への立入調査が行われたり、労基署への出頭要請をされる場合があります。

日ごろから就業規則等を整備して、労基法などの法律を遵守していることが大事です。

産学官交流サロンコーナー (お申し込みは下記まで)

	尾上町サロン	西湘サロン 第42回	三浦半島経済人サロン 第54回	神奈川新産学公交流 第53回 サロン横浜
日程	12月21日(金) 01月18日(金)	01月21日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	月 日(金) 18:00~20:30 開場は17:30~	12月19日(水) 18:00~19:30 19:40~忘年会
場所	神奈川中小企業センター 5階 異グ連事務所	小田原市第三区公民館 小田原市栄町1-16-41 (駐車場はありません)	神奈川新聞社 横須賀支 社5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センター 5階 会議室 異グ連
連絡先	異グ連	異グ連(島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	(織方、篠原、坂本、杉本)
内容	原則第一・第三金曜日 (17:15~19:30)	「元企業戦士、今ボランティアで元気一杯」 榎野 浩一 氏 参加費:1,000円	調整中	「生涯現役を目指して」 社会保険労務士・行政書士 オフィス架け橋代表 松田 健 氏

かながわ異グ連は12月29日より1月6日まで活動を休止しています。新年は1月7日~となりますので皆様、宜しくお願いします。

事務局のコーナー

2012年も間もなく終わり、2013年(蛇年)もカウントダウン間近。皆様、この1年、どのような年でしたでしょうか?異グ連ニュースもはや120回を超え、ますます皆様のお役に立てる情報を提供して行かねば・・・と思う次第です。これからますます寒くなつて参りますのでどうぞお体ご自愛ください。では良いお年を・・・。

「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながら「役立ち情報誌」となります。お気軽にご投稿下さいませ。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いません。

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp



神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①③④荒 直孝 ②⑤村田和彦【火】①③⑤児玉 英二 ②④八幡 敬和【水】①愛賢司②③④⑤杉本 明子(芝)

【木】松井 利夫 【金】①菊地(芝)③村上②④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail masahito@ab.bb-east.ne.jp 宗和(そうわ) 携帯:090-5556-8238

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel:045-633-5142 Fax:045-633-5194